

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：母子保健指導費

事業名 不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 電話番号：058-272-1111(内3542)
子育て支援課 母子保健係

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,600 千円 (前年度予算額： 10,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,000	5,000	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	3,600	1,800	0	0	0	0	0	0	1,800
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症については、妊婦が感染した場合の妊娠経過や出産への影響、新生児への感染リスクなどについて、妊婦は強い不安を感じがちである。そのため、分娩前の妊婦を対象にPCR検査を実施し、その不安を軽減することが必要である。

(2) 事業内容

無症状の妊婦に対し希望によりPCR検査を実施した場合に、その費用を助成する。助成方法は、原則、検査を実施した病院に対し補助を行うことで、妊婦の負担を軽減する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,600	
合計	3,600	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

令和4年度国2次補正事業（新型コロナウイルス感染症対策）

(2) 後年度の財政負担

県において、新型コロナウイルス感染症の流行下において、妊産婦への寄り添った支援の一つとして、不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業を実施する。感染症動向や感染症法の位置づけ等を鑑み、後年度以降は原則国庫補助の動向に合わせる。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業実施主体は岐阜県であり、原則、医療機関への補助であること、検査実施医療機関との調整等、妊婦への啓発、市町村への周知等が必要であることから、県が実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

無症状で希望する妊婦に対しPCR検査を実施した医療機関に対し、助成することで妊婦の負担を軽減する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R元年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①不安を抱える方へのウイルス検査の実施率			100	100	100	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 補助実績 306件
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 補助実績 420件
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	妊婦の新型コロナウイルス感染症に対する不安は強いため、事業実施は必要である。費用の助成は県しか実施できない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	補助実績 306件(令和2年度)、補助実績 420件(令和3年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	既存の検査スキームを活用しており、周知も産科医療機関から行うことから、もれなく行えるなど効率的である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 陽性となった妊婦や濃厚接触によって、母子分離となった妊婦への支援を確実に実施することが必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症が収束するまでは実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】